

# 平成19年第7回日野町議会定例会（2日目）

平成19年12月14日 午前10時 開議

## 一般質問通告表

通告順	氏名	質問事項
1	松本 利秋	<p>1. 情報の格差是正について</p> <p>私たちは、テレビや電話を使用し、生活と心を豊かにしエンジョイしてきました。</p> <p>ところで、地上テレビ放送は、現在のアナログ方式がデジタル化され、多様で高度な放送を楽しむことができるようになりました。今、逐次整備が進められており、本町では、来年の秋には地上デジタル放送「地デジ」を楽しめるようになります。</p> <p>しかし、本町は大半が難聴地域で、共同受信施設を設置して視聴しています。これの切り替えには、多額の工事費（地元負担）がかかるようであります。</p> <p>町としても、その対策とスムーズにデジタル化に移行できるよう、取り組みをする必要があります。</p> <p>また、若者対策の一つとして、携帯電話の不感地区解消を図ることが大切です。その取り組みと併せて伺います。</p> <p>&lt;地上デジタル関連&gt;</p> <p>1. 地上デジタル放送移行への取り組みとして、共同受信施設調査を実施されているようですが、その状況は。</p> <p>2. 共同受信施設の切り替え整備補助金及び取り組みについて。（特に、整備の方法、整備年度によって補助金に差異が生じないように、最小の地元負担で）</p> <p>3. 共同受信施設等で、弱者（低所得者）も等しく受信できる対策と取り組みについて。</p> <p>4. ケーブルテレビについて。</p> <p>&lt;携帯電話関連&gt;</p> <p>1. 携帯電話の不感地区解消を図る対策と取り組みについて。（特に、県が開設したホームページの書き込みによる要望の取り組み）</p>

2	小谷 博徳	<p>※子育て支援について</p> <p>今後、男女共同参画意識の高まりと共に、女性の社会進出は重要課題であり、子育て支援は行政の大きな課題解決策と考える。</p> <p>保育に欠ける世帯の子育て支援策は、若者定住の大きな柱であり、少子化対策の基本でもある。</p> <p>保育所統合を前提とした子育て支援策は町の将来を左右する重要な課題ととらえる。</p> <p>この町はこれからどのように対処し、将来にどうつなげるか、本町の子育て支援策を問う。</p> <p>①幼児期における子育て支援の現状と今後の施策は。</p> <p>②保育所統合の進捗度と問題点は。</p> <p>③統合により保育所はどう変革するのか。</p> <p>④統合による通園方法と保育時間は。</p> <p>⑤児童福祉法24条と39条の整合性は。</p>
3	中原 明	<p>※平成19、20年の収支推計について</p> <p>1) 平成19年度決算見込みは。</p> <p>①当初予算において1億7千万円の赤字予算が、9月補正で1億3百万円まで圧縮されたが、収支推計での赤字額7千7百2万円を達成する見込みはどうか。</p> <p>2) 平成20年度予算ヒアリングで施策の基本姿勢は何か。</p> <p>①平成20年度は一段と厳しさを増すと思われるが、行政の資産を広告媒体に活用して財源を得る動きがあるが、取組む考えはないか。</p> <p>②遊休町有資産、山、立木の売却により繰上げ償還できる物はないか。</p> <p>③普通建設費3千万円減は何故か。</p> <p>④地方交付税支援措置の頑張る地方応援プログラムを活用し取組む予定と言われたが、進捗しているか。</p> <p>※橋の劣化状況について</p> <p>1) 漆原橋、近江橋の劣化状況は。</p> <p>①劣化により鋼材にサビが出ている。早めの調査で早期補修を行い、橋の延命化を図ることが必要ではないか。</p>

4	佐々木 求	<p>※後期高齢者医療制度について  4月から導入されようとしているが、国民の厳しい批判の中、一部実施の先送りや見直しの論議も行われている。直接、町の運営ではなくなるという点での各町長の対応も様々あるようだが、問題点もはっきりしてきた。</p> <p>①滞納と資格証発行について  どう考えているか。</p> <p>②75歳以上とそれ以下の人の診療報酬別立ての「包括扱い（定額制）」と医療に上限をつけることは、病院経営にとっても深刻な問題と考えるがどうか。</p> <p>③こうした点を総合的に見ると、4月実施の中止を求め、制度の全面的見直しを迫る以外ないと考えるがどうか。</p> <p>※森林環境保全税について  県が300円から500円に値上げを図る中、これを使った事業の推進は当町にとっても意義あると考える。</p> <p>①事業の拡大にとっての問題点は何か。</p> <p>②平成20年の事業拡大に向けた取り組みを強めるべきではないか。</p>
5	松原 直人	<p>※「リバーサイドひの」の運営について  自然とのふれあいと都市との交流を深めるための施設として有効な活用をするにはいろいろ問題があると思います。</p> <p>「リバーサイドひの」の経営を正常にするには宿泊する部屋の問題、再開するための設備費、管理料をいくらにする等（前回の管理料月50万円）を考えておられますか。</p> <p>①町は経営について専門家と相談されましたか</p> <p>※行政について</p> <p>1)平成18年度決算審査指摘事項（監査委員）の中に採用後10年以内の職員については、継続的にアカデミー等各種研修に参加させるべきであり町にプラスになると思うとあるが、どう考えるか。</p> <p>①職員研修についての取り組みは。</p> <p>②職員の資質・能力・やる気をどのように高めるのか。</p> <p>2)島根県江津市への研修で感じたことは行政はタイピングを見極める目が大切だと思いました。</p> <p>①時代を読むことが大切だと思うがどうか。</p> <p>3)団塊世代のUターンIターンについて、根雨、黒坂、野田、舟場等の宅地の斡旋について何か考えておられますか。</p> <p>①行政は土地の仲介等支援が必要ではないか。</p>